

先週の説教要旨

『イエスの名によって』井上隆晶牧師
エゼキエル 37: 1~10、使徒 3: 1~10

❶【持っているものをあげよう】ペトロとヨハネが神殿に上って行くと、生まれながら足の不自由な男の人が運ばれてきました。彼は、神殿に来る人から施しをもらうために、毎日「美しい門」と呼ばれる神殿の門のそばに置いてもらっていたのです。彼はペトロとヨハネにも施しを求めました。するとペトロは「わたしには金や銀はないが、持っているものをあげよう。ナザレのイエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい」（使徒 3: 6）と言って、彼の右の手を取って立ち上がらせると、その人の足がしっかりして、躍り上がって立ち、歩き出しました。ペトロが持っていたものとは何でしょう。それはキリストと聖霊です。私たちも同じです。もしキリストが私から去れば、権威を失い、力を失い、命を失い、塩気を失った塩のように何の役にも立たない者になります。聖霊が去れば、私は信仰を失い、手を置くことも出来ず、癒せず、語ることもできなくなります。キリストは使徒たちに「あらゆる悪霊に打ち勝ち、病気をいやす力と権能をお授けになった。」（ルカ 9: 1）のです。これはキリストの体とされたすべてのクリスチャンが持っている力です。私たちはその賜物を開花させなければなりません。パウロは弟子のテモテにこう言いました。「私が手を置いたことによってあなたに与えられている神の賜物を、再び燃え立たせるように勧めます。神はおくびょうの霊ではなく、力と愛と思慮分別の霊を私たちにくださったのです。」（Ⅱテモテ 1: 6~7）再びという事は、前は燃えていたのに今は、くすぶっているということです。でもその

賜物は消えることなくあなたの中にあるので、もう一度燃え立たせよと言うのです。19世紀のロシアの聖人、サーロフの聖セラフィムは特別な教育を受けた人ではありませんでしたが、幼い時から信仰が篤く、15年間深い森の中で隠遁生活を送って修行し、聖霊の賜物を授かりました。彼は人に出会うと誰にでも「私の喜びよ、私の宝よ」と言って挨拶し、「平和な心を獲得しなさい。そうしたらあなたの周りにいる数千人が救われます」と教えました。この「平和な心」は聖霊が結ぶ実（品性）であるとし、聖霊を獲得することが人生の目的だと言っています。まず自分自身の信仰を吟味しなければなりません。あなたはキリストと聖霊を持っていますか？

❷【イエス・キリストの名によって歩くとは】足の不自由な人が癒されたのを見て、大勢の人たちが集まってきました。そこでペトロはその人たちに「あなたがたの見て知っているこの人を、イエスの名が強くしました。それはその名を信じる信仰によるものです。イエスによる信仰が、あなたがた一同の前でこの人を完全に癒したのです。」（使徒 3: 16）と言いました。生まれた時から歩くことが出来ない彼は、ずっと人に頼って生きて来ました。そのような生き方をやめ、イエス・キリストに頼って生き始めたということです。イエス様が私を生かして下さる、イエス様が私を治してくださる、イエス様が立ち上がらせ歩かせて下さるという生き方に変わったということです。イエス様の名前自体に「魔法の様な力」があるわけではありません。いくら名前を繰り返し呼んでも、イエス様自身を信じていなければ奇跡は起きません。名前は本体を現わします。キリストを信じるとは、具体的にはキリストの言葉に従うという事です。「わたしを愛する人は、わたしの言葉を守る。…私を愛さない者は、わたしの言葉を守らない。」↑

週報

日本キリスト教団 都島教会

伝道所設立 1957 年 12 月 1 日 教会設立 2001 年 12 月 2 日
〒534-0012 大阪市都島区御幸町 2-6-17

TEL06-6922-1120 FAX06-6922-1120

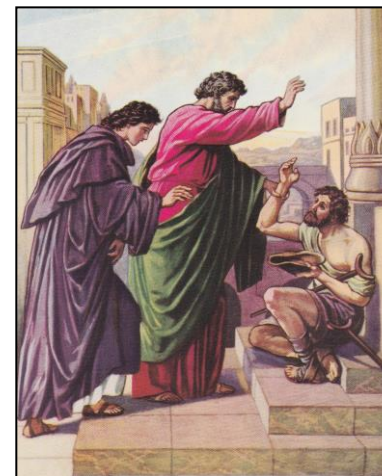
E メールアドレス: miyakoch@eagle.ocn.ne.jp

ホームページアドレス: <https://miyakojima-church1.com>

郵便振替 00920-4-1442 日本基督教団都島伝道所

主任牧師 井上 隆 晶

2025年6月22日 No.1825



《足の不自由な男を癒す》

都島教会の 2025 年度の宣教方針

標語 《会堂建築の準備をしよう》

聖句 「主御自身が建ててくださるのでなければ、家を建てる人の労苦はむなしい。」（詩編 127: 1）

2025 年度の目標

- 1 毎週礼拝を守り、礼拝出席平均 28 名を目指します。
- 2 一年間に一人を礼拝にお誘いします。
- 3 信徒の交わりを大切にします。
- 4 会堂建築のための具体的な準備を進めます。